



採用ポジション：PR（アシスタント）

■ご応募に関しまして

連絡先：QPS 研究所採用担当 hr@i-qps.com

件名に「PR（アシスタント）」とポジション名を明記いただき、履歴書、職務経歴書をお送りください。新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大状況を鑑みて、面談形式（オンラインもしくは対面）については、随時ご相談させていただきたく存じます。入社時期に関しましても柔軟に対応いたしますので、ご不明な点はお気軽にご連絡ください。

項 目	内 容
雇 用 形 態	正社員
採 用 人 数	1名
職 務 内 容	<p>■下記のPR業務を、アシスタントとしてサポート・担当していただきます。</p> <p>【具体的な職務内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種PR活動のスケジュール作成、管理 ・プレスリリース等の社外用資料作成、配信 ・メディア取材対応 ・ブランディング/広報/販促ツールの企画、制作 ・イベントの企画立案、実施、運営 ・会社HP、公式SNS等の更新 ・各種メディア掲載確認（クリッピング等） ・レポートなどの社内用資料作成、データ集計
必 要 条 件	<p>■必要要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人経験を2年以上有していること ・協力会社、クライアント含め社外との調整業務経験を有していること ・基本的なPCスキル（タッチタイピング、Microsoft Officeの各アプリケーション操作）を有していること ・社内外的関係者と円滑に業務を進められるコミュニケーション能力を有していること <p>■歓迎条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇宙ビジネス業界への興味 ・提案型営業経験 ・イベントプランナー経験 ・PR実務経験 ・英語スキル
応 募 書 類	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書 ・職務経歴書
募 集 背 景	当社が事業拡大・成長していく上で、“会社の顔”として対外的な業務を行う部署を強化するため、PRアシスタントを募集いたします。



	<p>PR 活動として、オウンドメディアでの情報発信やメディア取材対応、講演会や異業種コラボ、イベントの企画・運営など幅広い業務を、マーケティング&コミュニケーションマネージャーが全て対応しています。まずはアシスタントとして宇宙ビジネス業界について学んでいただき、メディアとの関係性を構築した後は、PR 担当としてメディア取材対応の業務をお任せしたいと考えています。</p> <p>世界の宇宙産業はすでに 40 兆円の市場規模があり、10 年後、20 年後には 100 兆円を突破すると言われています。宇宙産業は急成長分野であり、日本でも民間の宇宙企業が主導で盛り上がりを見せています。小型 SAR 衛星の分野は、世界でもまだプレイヤーが非常に少ない一方で、様々な活用方法が可能な衛星データは価値が高く、新たな技術に期待が寄せられています。新たな成長産業で、一緒に会社を盛り上げてくださる方をお待ちしています。</p>
勤 務 地	福岡市
予 定 年 収	<p>■年収</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 300 万円～500 万円 ・ 固定残業代 (40 時間/月) 含む
休 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間休日 124 日 (完全週休 2 日制※土日祝日) ・ 年次有給休暇 ・ 慶弔休暇
福 利 厚 生	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康保険 ・ 厚生年金 ・ 雇用保険 ・ 労災保険 ・ 通勤手当 (会社規定あり、上限 3 万円/月)
就 業 時 間	<p>■スーパーフレックスタイム制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 日の標準労働時間 : 8 時間
会 社 概 要	<p>当社は「宇宙の可能性を広げ、人類に貢献する」ことを企業ミッションとして、2005 年から宇宙技術開発を行っています。今までの知見・技術を活かし、世界でも数社しか取り組んでいない SAR (合成開口レーダー) 衛星の小型化 (従来の 20 分の 1 の重量、また 100 分の 1 のコスト) を成功させました。レーダーを使用して観測する SAR 衛星は、夜間や天候に関係なく観測できることが大きな特徴です。</p> <p>現在は衛星 2 機を運用しており、民間の小型 SAR 衛星として日本最高分解能・最高画質の観測データを取得しています。</p> <p>2025 年以降には 36 機の衛星によって、地球のほぼどこでも任意の場所を平均 10 分間隔で観測データを提供できるようになることを目標としており、2022 年には 4 機の打ち上げを予定しています。</p> <p>今後の衛星量産体制・データ販売体制を整えるため、事業拡大に向けた組織づくりを進めています。</p>